



—Picture Book (英語絵本) を活用する—

久しぶりに外国語活動充実のためのポイントです。九つ目は「Picture Book (英語絵本)の活用(読み聞かせ)」です。
 新学習指導要領では、5・6年英語教科化と同時に、3・4年生で外国語活動がスタートします。英語絵本は、活動の必須アイテムとして、ぜひ今から押さえておきたいものです。

まずはこれから“厳選10冊”!!

- ① THE VERY HUNGRY CATERPILLAR
- ② Five Little Monkeys Jumping on the Bed
- ③ Dear Zoo
- ④ Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?
- ⑤ Ketchup On Your Cornflakes?
- ⑥ A Beautiful Butterfly
- ⑦ Bark, George
- ⑧ Where's Spot?
- ⑨ What's in the Witch's Kitchen?
- ⑩ Yummy YUCKY



児童にとって、なぜよいか

- 楽しく・考えながら・想像しながら、英語のインプットができます。
- 絵本の絵が、ストーリーや状況の理解を助けてくれます。
- 教室の中で、リアルな時と場を感じることができます。
- 異なる文化や、ものの見方に触れることができます。
- 絵本を開けば、いつでもその世界に浸ることができます

指導者にとって、なぜよいか

- 英語のインプットを、より充実させることができます。
- 指導者と児童の、会話の必然性が生まれます。
- 語彙や文の構造を、文脈の中で提示することができます。
- 活動のヒントを得たり、アイデアが生まれたりします。
- 英語活動のペースに変化をつけることができます。

選択 (どんな絵本がよいか)

- くり返しがある。
- リズム感がある。
- ストーリーが簡潔である。
- 絵が鮮明で、はっきりしている。
- メッセージ性がある。(※高学年)

読み聞かせ方 (どんなふうに読むか)

- 指導者自身の言葉で。
- 表情豊かに、動作やジェスチャーをつけて。
- キー・センテンスを印象的に。
- 質問を挟みながら、絵本の世界に引き込んで。
- 最小限の日本語で、児童のつぶやきと流れを大切に。

絵本活用の仕方 (単元に位置づける/活動の変化に「投げ込み」で)

単元の導入で活用したり、活動の変化に「投げ込み」で活用したりする方法が考えられます。まずは気軽に、先生の好きな絵本を「投げ込み」で読み聞かせしてみても良いでしょう。

3・4年生では こんな絵本が

デジタル教材として、“Hi, friends! Story Books” が配布されます。読み聞かせの音声と関連するチャンツが収録されているようです。第3・4学年の外国語活動実施に向け、着々と準備が進められています。

